



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月14日  
東

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所  
コード番号 6069 URL <http://www.trenders.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 経沢香保子 (戸籍名: 岡本香保子)  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 郭翔愛 (TEL) 03-5774-8871  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)  
(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	736	△8.3	6	△96.7	7	△96.3	1	△98.6
25年3月期第2四半期	803	—	197	—	192	—	117	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	0.48		0.41					
25年3月期第2四半期	42.31		—					

(注) 当社は、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行なっております。1株当たり四半期純利益は当該分割調整後の数値を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,690	1,473	87.1
25年3月期	1,771	1,463	82.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,473百万円 25年3月期 1,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では平成26年3月期の期末日の配当予定額は未定であります。

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	11.4	150	△62.9	150	△62.1	90	△63.9	26.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	3,364,800株	25年3月期	3,315,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	3,350,879株	25年3月期2Q	2,775,000株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安基調への転換及び株価の回復に伴い、景気は緩やかに回復しつつあるものの、新興国経済の下振れが懸念され、依然として景気の先行きは予断を許さない状況で推移いたしました。

当社は「ソーシャルメディアマーケティングのオールラウンドカンパニー」を目指し、新サービスの開発に注力するほか、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社と提携し「Tプレゼント×Amaze」サービスを開始いたしました。また、既存サービスの受注が伸び悩みました。また、人件費の増加により利益率が低下いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高736,465千円(前年同期比8.3%減)、営業利益6,579千円(前年同期比96.7%減)、経常利益7,182千円(前年同期比96.3%減)、四半期純利益1,604千円(前年同期比98.6%減)となりました。

各セグメントの業績については、次の通りであります。

① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、不正業者によるステマ問題に起因するブログサービスの一時的な不振、及び新サービス開発への人員配置強化に伴う人件費率の悪化等により、売上高、営業利益ともに減少いたしました。インターネット広告においては顧客企業から費用対効果を強く求められるため、これに対応できる新商品の早期立ち上げに注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は710,611千円(前年同期比9.9%減)、セグメント利益(営業利益)は163,444千円(前年同期比53.7%減)となりました。

② メディア事業

当セグメントにおきましては、美容医療ポータルサイト「キレナビ」におけるドクターコスメ(美容クリニックのオリジナル化粧品)の販売が堅調に推移いたしました。施術クーポンを販売する美容医療については、美容医療についての啓蒙活動、サイトの利便性向上及びプロモーションに引き続き取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は25,853千円(前年同期比76.6%増)、セグメント損失(営業損失)は14,821千円(前年同期はセグメント損失(営業損失)19,300千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は1,690,939千円となり、前事業年度末に比べ80,374千円減少しました。主な要因としましては、法人税等の支払による現金及び預金の減少51,982千円であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は217,496千円となり、前事業年度末に比べ90,136千円減少しました。主な要因としましては、未払法人税等の減少87,554千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は1,473,443千円となり、前事業年度末に比べ9,761千円増加しました。要因としましては、新株予約権の行使による株式の発行による収入8,157千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成25年10月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,234,192	1,182,210
受取手形及び売掛金	379,723	321,851
仕掛品	6,853	21,155
貯蔵品	538	68
その他	21,196	15,482
貸倒引当金	△2,072	△1,556
流動資産合計	1,640,431	1,539,211
固定資産		
有形固定資産	25,277	25,512
無形固定資産	49,557	70,875
投資その他の資産	56,048	55,339
固定資産合計	130,882	151,728
資産合計	1,771,313	1,690,939
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,390	89,771
未払金	18,579	23,116
未払費用	54,719	40,750
未払法人税等	90,819	3,265
未払消費税等	19,473	3,729
預り金	18,597	21,830
ポイント引当金	5,169	14,737
その他	4,174	4,440
流動負債合計	291,923	201,641
固定負債		
資産除去債務	15,708	15,855
固定負債合計	15,708	15,855
負債合計	307,632	217,496
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	512,710	516,788
資本剰余金	491,710	495,788
利益剰余金	459,261	460,866
株主資本合計	1,463,681	1,473,443
純資産合計	1,463,681	1,473,443
負債純資産合計	1,771,313	1,690,939

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	803,178	736,465
売上原価	342,869	418,637
売上総利益	460,308	317,827
販売費及び一般管理費	263,206	311,247
営業利益	197,102	6,579
営業外収益		
貸倒引当金戻入益	—	516
ポイント引当金戻入益	1,587	—
その他	122	477
営業外収益合計	1,710	993
営業外費用		
支払利息	599	390
上場関連費用	6,145	—
営業外費用合計	6,745	390
経常利益	192,066	7,182
税引前四半期純利益	192,066	7,182
法人税、住民税及び事業税	70,536	1,145
法人税等調整額	4,122	4,432
法人税等合計	74,659	5,577
四半期純利益	117,407	1,604

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	192,066	7,182
減価償却費	5,225	8,238
のれん償却額	1,952	1,952
貸倒引当金の増減額(△は減少)	201	△516
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,587	9,568
受取利息	△0	△0
支払利息	599	390
上場関連費用	6,145	—
売上債権の増減額(△は増加)	△60,437	57,872
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,446	△14,302
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,585	9,380
未払金の増減額(△は減少)	△13,798	2,675
未払費用の増減額(△は減少)	795	△13,968
預り金の増減額(△は減少)	6,434	3,233
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,737	△15,743
その他	235	2,725
小計	131,956	58,687
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△599	△390
法人税等の支払額	△106,666	△86,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,689	△28,440
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,252	△2,890
無形固定資産の取得による支出	△7,034	△28,807
資産除去債務の履行による支出	△1,096	—
敷金の回収による収入	1,050	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,333	△31,698
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△13,005	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	8,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,005	8,157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,351	△51,982
現金及び現金同等物の期首残高	495,464	1,234,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	497,815	1,182,210



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	788,542	14,636	803,178	—	803,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	788,542	14,636	803,178	—	803,178
セグメント利益又は損失(△)	353,035	△19,300	333,734	△136,632	197,102

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,632千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	710,611	25,853	736,465	—	736,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	710,611	25,853	736,465	—	736,465
セグメント利益又は損失(△)	163,444	△14,821	148,623	△142,043	6,579

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△142,043千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

株式取得による会社の買収

当社は、平成25年11月1日開催の取締役会において、株式会社H&BCの全株式を取得し、子会社化することについて決議を行い、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得しております。

(ア) 株式取得の目的

株式会社H&BCは、大手流通向けの化粧品の製造販売・卸売事業を行っており、安定した顧客基盤を有しておりますが、当社の女性向けマーケティングノウハウを活かした新商品開発や販売促進等に取り組むことによって、両社の企業価値のさらなる向上と、当社グループにおける収益源の多様化・安定化にもつながるものと考え、今回の株式取得を決定いたしました。

(イ) 株式取得の相手先の名称

上田博嗣

株式会社アールライブ

(ウ) 株式取得する会社の概要

- ① 名称 株式会社H&BC
- ② 所在地 東京都渋谷区神宮前四丁目19番6号
- ③ 代表者 上田博嗣
- ④ 事業内容 化粧品の企画、製造、販売及び輸出入等
- ⑤ 規模(平成24年11月期)
  - 資本金 10,000千円
  - 売上高 438,323千円

(エ) 株式取得の時期

平成25年11月1日

(オ) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- ① 取得する株式の数 200株
- ② 取得価額 30,000千円
- ③ 取得後の持分比率 100%

(カ) 支払資金の調達方法

自己資金

(キ) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。